

平成21年度 独立行政法人福祉医療機構
長寿社会福祉基金（一般分）報告書

認知症高齢者介護家族への 個別相談対応のための研修システム構築事業

平成22年3月



認知症介護研究・研修仙台センター

はじめに

認知症介護研究・研修仙台センターでは、独立行政法人福祉医療機構の「長寿社会福祉基金（一般分）」の助成を受け、平成20年度より「認知症高齢者介護家族への個別相談対応のための研修システム構築事業」を展開しております。

これまで在宅で介護にあたる家族に対する支援は、一定の時間介護を肩代わりすることによって介護家族の負担を軽減することに主眼が置かれており、介護家族が自ら相談を求めない限り、精神的な支援が必要な時期にある家族に対して十分な支援が行き届いていないことが課題でした。

そこで本事業では、在宅の介護家族と接する機会の多いデイサービスやデイケアの多くの職員を対象に専門性の高い個別相談に専門職として対応できる人材を育成することを旨とし、研修に活用できる教材を開発することを目的としました。

また、そのような人材を最低限「一事業所一人」を目標に育成するシステムを構築し、悩みや不安をもった全ての介護家族に対して介護負担を軽減することができる人的環境を構築することを目指しています。

平成21年度は、昨年度作成した研修カリキュラムと研修教材の内容を検証することを目的に、全国11箇所ですべて12回モデル研修を開催しその有用性を確かめることができました。このモデル研修には、計3,808名の方に参加希望をいただき、うち1,302名の方にご参加いただくことができました。より多くの方に参加していただくことは、より多くのご家族の支援に繋がることから、この事業の目的である研修システムの構築は急務であると改めて強く感じております。

今年度モデル研修の参加者の皆さんに評価をいただき改訂をした映像教材や研修テキストは、認知症のご本人、そしてご家族の方の、ふたたびのご協力によってより良い研修教材を作成することができました。あらためて、皆様に心から感謝申し上げます。

来年度は、都道府縣市レベルで実施できるよう支援し認知症高齢者介護家族への個別相談対応のための研修システム構築推進を行っていく予定です。

今後も、当センターの研究・研修事業につきましてなお一層のご理解、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

認知症介護研究・研修仙台センター
センター長 加藤 伸司

事業実施体制

認知症高齢者介護家族への個別相談対応のための研修システム構築事業検討委員会委員一覧

- 長嶋 紀一（日本大学 文理学部 心理学科 教授）
西村 敏子（社団法人認知症の人と家族の会 北海道支部 事務局長）
妻井 令三（社団法人認知症の人と家族の会 岡山県支部 代表）
武田 純子（有限会社ライフアート 代表）
日野 和子（社会福祉法人やすらぎ福祉会 やすらぎの家デイサービスセンター 施設長）
須藤 演子（社会福祉法人至誠学舎東京 緑寿園ケアセンター ケアセンター室長）
西村 有加（社会福祉法人東北福祉会 せんだんの里特別養護老人ホーム 在宅支援係長兼居宅支援係長）
杉村 和子（社会福祉法人聖徳会 高齢者総合ケアセンターまつばら センター長兼施設事業部部長）
一原 浩（社会福祉法人同心会 高齢者総合福祉施設緑の園 理事）
大久保幸積（社会福祉法人幸清会 理事長）
内出 幸美（社会福祉法人典人会 総所長）
中村 裕子（社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター 主任研修指導主幹）
中村 考一（社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター 研修主幹）
加藤 伸司（社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター センター長）
阿部 哲也（社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター 研究・研修部長）
矢吹 知之（社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター 主任研修研究員）
吉川 悠貴（社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター 主任研究員）

研修教材作成ワーキンググループ委員一覧

- 杉村 和子（社会福祉法人聖徳会 高齢者総合ケアセンターまつばら センター長兼施設事業部部長）
行徳 秀和（社会福祉法人幸清会 デイサービスセンターぬく杜の郷・しおさい 所長）
金野 千津（医療法人勝久会 気仙苑デイケアセンター センター長）
後藤 美香（有限会社アライブ・ワン 代表取締役）
加藤 伸司（社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター センター長）
矢吹 知之（社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター 主任研修研究員）

事務局

堀籠 修子 工藤 靖子 春川 美土里

目 次

認知症高齢者介護家族への個別相談対応のための研修システム構築事業

認知症介護研究・研修仙台センター 加藤伸司 阿部哲也
矢吹知之 吉川悠貴

はじめに

事業実施体制

第 1 章 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

1. 問題の所在
2. 事業の目的
3. これまでの成果と事業実施によって期待される今後の成果
4. 事業全体の流れ
5. 事業の成果
6. 成果物

第 2 章 認知症介護家族を支援するためのモデル研修の実施・・・・・・・・12

1. モデル研修実施の目的
2. モデル研修の概要と実施方法
 - 1) 研修によって育成する人物像（研修ビジョン）
 - 2) 研修内容の特徴
 - 3) 研修実施概要
 - 4) モデル研修実施の手続き
3. モデル研修の内容
 - 1) 研修カリキュラム
 - 2) 研修スケジュール
 - 3) 使用したテキスト
 - 4) 使用した映像教材

第 3 章 認知症介護家族を支援するためのモデル研修の評価・・・・・・・・22

1. 目的
2. 方法
3. 結果
 - 1) 研修参加者の属性
 - 2) 自事業所の認知症・家族支援研修実施および環境状況
 - 3) 事業所別の研修の状況の比較
 - 4) 職種別の研修の状況の比較
 - 5) モデル研修の評価（度数分布）
 - 6) 事業所種別の研修評価
 - 7) モデル研修内容の今後の活用方法（自由記述）
 - 8) 研修の満足度と活用度に及ぼす要因

第4章 モデル研修の効果と家族支援の方向性・・・・・・・・・・ 44

1. 目的
2. 方法
3. 結果
 - 1) 対象者の属性
 - 2) 研修の効果
 - 3) 研修内容の副次的効果
4. 介護家族支援事例提供内容の分析
 - 1) 家族介護者の基本属性
 - 2) 職員がうまくいっている・うまくいっていないと思う事例の基本属性
 - 3) 事例の概要
5. 研修の効果と事例分析のまとめ

第5章 認知症介護家族の個別相談対応の教育支援システムの構築・・・・ 64

1. 個別相談対応のための教育研修システム構築体制
2. 介護家族個別相談にむけた支援教育システム構築
モデル研修「家族支援に向けたスキルアップ研修会」の開催
 - 1) 概要
 - 2) 案内発送先
 - 3) 開催場所と申込者数
3. 研修カリキュラムの改訂
 - 1) カリキュラムの改訂
 - 2) 「研修ねらい」の変更
4. 教育研修教材の改訂
 - 1) テキスト教材の改訂
 - 2) 講師用テキストの変更点
5. 映像教材の改訂
 - 1) 映像教材の改訂の全体像
 - 2) 認知症の本人映像教材改訂
 - 3) 介護家族の映像教材改訂
6. 認知症介護家族支援のための研修システムの構築
 - 1) 認知症介護家族支援のための研修システムの構築の取り組み
 - 2) 行政担当者会議の開催
 - 3) 講師養成とテキスト作成
 - 4) 広報のためのホームページの作成
 - 5) 研修内容の活用事例

資料1 モデル研修参加者の受講評価票

資料2 モデル研修フォローアップ調査および事例記入票

資料3 モデル研修受講者募集案内

資料4 事業実施広報ホームページ

資料5 モデル研修実施概要一覧